まるごと!西日本

@OISCA_NTC
Instagram　facebook
日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索　オイスカ西日本

2023 年　1 月号

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

旧年中は　オイスカ活動に格別のご厚情を賜り厚く御礼
申し上げます

オイスカが世界のＮＧＯとして活動を開始し、昨年六十二年を
迎え　新たな活動へと継続させていただいております

これもひとえに皆さまのご支援あってこそと感謝致します

今後とも　母なる地球のふるさとづくりに向けて　海外研修生の
人材育成と国内社会連携に邁進してまいります

本年も何卒変わらぬご支援　ご指導を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます

令和五年　元旦

公益財団法人オイスカ西日本支部
会長　瓜生　道明

公益財団法人オイスカ西日本研修センター
所長　廣瀬　兼明

ご協力ありがとうございます！

【12 月の寄付品】(敬称略)高倉哲康、山崎敦也、諸江葉月、萬代保男、㈱タカモト、横田元育、筥崎宮、平井正則、クリスター、宮崎あかね、進藤徳博、麻生誠、馬場雄治

【新入会】 野中　國保

1 月の予定

4 日 仕事始め
21 日 生松台ふれあい市
27 日 センターサミット(オイスカ海外 OB・OG 研修生活動発表会、28 日まで) 於：西日本研修センター

農業研修風景

この前、センターの忘年会＆慰労会に来たお客さんから、「センターの野菜はどれも美味しいですね」という嬉しい話をいただきました。研修生に講義をする中でよく話をすることが、「どうしてオイスカの野菜は美味しいのですか？」と質問すると、研修生からは「有機栽培だからです」といった答えがかえってきます。それでは、「どうして有機栽培だと野菜は美味しくなるのですか？」と質問すると、だいたい答えはかえってきません。その答えはいろいろあるのですが、その時に研修生に「それは、あなたたちの心が入るからです。だから美味しいのです」と半分冗談で言います。有機栽培は、普通の栽培と違って経費も労力も多くかかり、時には虫の被害などにもあって収穫がうまくいかないことも多いですが、それでもオイスカの野菜を美味しいと言っくれる方があると、それが大きな励みとなり自信にもつながります。今年の冬は寒さが厳しいですが、お客さんからの「美味しい」の言葉を励みに、今日も研修生たちは収穫作業を行っています。

鬼木大明神　今月の一句

価値観が多様化した IT 時代「言わなくても解って呉れる」はもはや通用しない。相手に対して不快に思うことは、直接かつ対面で率直に伝えることが本当の誠意なのだ！嫌なことは、はじめから嫌と言える有機を持とう！「触らぬ神にたたりなし」という態度では真の信頼関係は築けない。Face To Face でかつ一方通行でなく双方向でキャッチボールしつつ率直なコミュニケーションを重ねよう！！人の短所は視点を変えることで気にならなくなることも多いが、もし自分の明るさで相手の暗さに灯りをともし共感できれば最高じゃないか！！

研修生初雪

12 月 18 日、西日本研修センターに初雪が降りました。この日の気温はなんと 4 度、グランドでは研修生が雪だるまを作り、みんなで雪合戦をして楽しみました。初めて見る雪を手に取り、あまりの雪の冷たさに思わず驚きの声を上げていました。海外研修生にとって、これからがもっとも寒いシーズンに入っていきますが研修修了する 3 月までしっかり健康管理をしながら研修に励んでいきます。研修生ファイト頑張ってください!（満川）

雪だるまをたくさん作りました

体験農園だより

今年は昨年に比べてよい野菜が採れているように感じます。ニンジンは播種時の干害の影響で発芽が良くありませんでしたが、逆に間隔が開いて大きなニンジンができました。ホウレンソウは昨年よりも早く発芽したため、比較的大きなホウレンソウを収穫できたと思います。ジャガイモについても「最高の出来！」とうれしいお声をいただいています。参加者の皆様に喜んでいただけてよかったです:)12 月 24 日(土)には毎年恒例の餅つき大会を実施いたしました。異例の大雪でしたが、50 名ほどの方がお越しくださいました。積雪もあり、子どもらは餅つきだけでなく、雪遊びも楽しそうにしていました！いい思い出ができてよかったです:)(飯川)

オイスカ国際活動促進　福岡県議会議員連盟　報告＆懇親会

3 年ぶりに福岡県議会議員連盟（79 名）の皆様との研修報告会並びに懇親会を開催していただきました。12 月 13 日、福岡県議会棟にて報告会が開催され、正副議長のご出席もいただき、野原会長のご挨拶もいただき、大人数の方々の前で研修生一人ひとりによる自己紹介、帰国後の活動予定を発表させていただきました。第二部では、行政棟地下の食堂（通称：服部食堂）にて服部知事、3 名の副知事をはじめ、議連の皆様及び県の執行部の方々も参加いただきました。研修生にとっては初めての体験で、それでも多くの方々と交流ができて楽しいひと時をいただきました。ご参加いただきました皆様、本当に感謝いたします。（廣瀬）

農業ボランティア慰労会＆忘年会＆クリスマス

クリスマスイブの 24 日、積雪の中、今年ボランティアでお手伝い頂いた皆様と一緒に、懇親会を開催しました。雪景色の中でしたが多くのボランティアの皆様にお集まりいただき、賑やかに、楽しく開催しました。今年はやっと海外研修生も 7 名来日できましたが、多くのボランティアの皆様は、昨年に引き続きセンターの農場を心配頂き、毎週参加される方も多く、本当に助かりました。研修生ともしっかりなじんでいただき、懇親会でも流暢な？日本語で皆さんと楽しく会話させていただきました。ボランティアの皆さんは「来年も来るよ！」とお声をかけていただき、新しく、また広がりを見せたオイスカチームができたように感じ、本当にありがたいことだと思っています。今年もこき使うかもしれませんが、楽しく一緒に活動させてください。ありがとうございました。（廣瀬）

アトリエ木下さんクリスマス会

12 月 18 日、会員企業のアトリエ木下さんのクリスマス会に海外研修生並びにスタッフをご招待いただきました。夕方6時より浄水通り本店レストランで行われ、木下社長はじめ社員家族の方と親睦を深め日本のクリスマスをお祝いしました。またクリスマスケーキ作りの貴重な体験もさせていただき、最後のお楽しみプレゼントタイムでは木下社長よりたくさんのお土産を研修生はじめスタッフ全員にお渡しをしていただきました。またアトリエさんでは年間を通して研修生をスタジオに招いての撮影会や研修アルバムも作成いただき研修生に贈呈をしていただいています。毎年ありがとうございます。（満川）

記念撮影

木下社長ご挨拶

ケーキのデコレーション

日本語のようす

農業研修生 7 名は、12 月 4 日に日本語能力試験を受験しました。N4 受験者が 3 名 N5 受験者が 4 名です。手ごたえは感じているようで、結果は 2 月上旬にわかります。また、週 1 回の日本語が終了し、残すところ 3 か月の本研修になりました。今後は身につけた日本語を大いに活かして、外部研修、アクションプラン作成に臨みます。

技能実習生 6 名（インドネシア）が、11 月 28 日に入所し、配属前に 2 ヶ月の講習をしています。2 か月後には、配属先での仕事、日本での生活が始まります。日本語での指示がわかり動けるように、また、疑問点を質問でき、自分の意見や気持ちが述べられるように授業を進めています。インドネシアでは、日本の歌謡曲やアニメなどの日本文化も浸透しており、息抜きにそんな話をするのも楽しいです。

寒さに負けず、がんばれ！研修生！実習生！（立石考子）

試験が終わってほっとした様子

日本語中の技能実習生

「そば道場」の開催

今年の夏から始まった「福岡そばの会」の皆さんとのそば作りが 11 月に終了し、そばの会の皆さんの話では、予想以上に美味しいそばがたくさん収穫することが出来ましたと喜んでいました。みんなで頑張って育てた今年の新そばを使って、12 月 7 日（水）に、研修センターにてそば作り体験が実施されました。栽培途中で草取り作業を手伝っていただいた、ボランティアの会の皆さんも一緒に参加して楽しくそば作りを行いました。出来たおそばは「ざるそば」で食べたのですが、それは今までに食べたことのないような、絶品の美味しいそばでした。「福岡そばの会」の皆さん、美味しいそばを有難うございました。（豊田）

オイスカ高校修学旅行訪問

12 月 8 日（木）、静岡県浜松市にあります「オイスカ浜松国際高等学校」の 2 年生（約 100 名）が修学旅行の一環で研修センターを訪問し、短い時間ではありましたが研修生との交流を行いました。本来であればオイスカ高校の修学旅行は、海外に行くことになっていたのですが、新型コロナウィルスの影響で国内に変更され、今回九州地区を訪問することになったそうです。研修生との交流会では、研修生から国の紹介と各国の踊りを一緒に踊ったりしましたが、学生の人数が普通の交流会より多かったため、多少戸惑うところが多かったですが、踊りを一緒に踊ったりして大変盛り上がった交流会となりました。（豊田）

「松がつなぐあした」読書感想文コンクール

12 月 9 日（金）～11 日（日）にかけて、宮城県在住の高校生 3 名、大学生 1 名の計 4 名が研修センターを訪問し、2 泊 3 日で福岡県、佐賀県の海岸林の視察、研修を実施しました。今回訪問した学生4名は、オイスカ本部が主催し、JBEX 航空がスポンサーとなって実施した企画で、海岸林の取り組みをまとめた「松がつなぐあした」（小林省太氏著）の読書感想文コンクールで選ばれた皆さんだそうです。滞在した 3 日間は、本部職員の引率のもと各地の海岸林の視察や研修を行いましたが、センター到着後の夜に、研修生との交流会で国の紹介や夕食懇親会を行い、大変盛り上がった夜を一緒に過ごしました。参加した学生さんも積極的に研修生と交流をはかりながら、オイスカの魅力に触れる良い機会となりました。（豊田）

フリースクール玄海餅つき大会及びフィリピンより生徒帰国

福岡県古賀市にある会員のフリースクール玄海の餅つき大会が行われ海外の研修生参加をしました。フリースクール玄海では杵と臼を使っての餅つきや、足踏みでの餅つきも行われ研修生たちは珍しそうに見入っていました。また日本の古来の伝統文化にも触れ、スクールの生徒ご家族の皆さんと親しく交流を図り親睦を深めました。

また今年から海外研修も再開し生徒2名は語学研修をはじめ各種活動等の研修を終え 12 月 13 日に 3 ケ月間の研修を終え 1 名帰国をしました。あと 1 名は研修期間をさらに 3 ケ月間延長して研修を継続することになりました。令和 5 年度 4 月からは新たに 1 名の生徒がフィリピンで海外研修に参加することになります。色々と見聞を広げ経験を積んで頑張ってください。（満川）

餅つき大会

フィリピンより帰国した深川君(左側母親)(於:福岡空港)

海外研修生初詣

1月4日、晴天に恵まれた穏やかな朝、海外研修生は初めて迎える日本のお正月、福岡市内にある住吉神社、福岡県護国神社、脇山の横山神社へ初詣をしました。研修生は慣れない作法の中神社本殿に進みお賽銭を入れ静かに手を合わせ、新たな気持ちで新しい一年に感謝を捧げました。福岡県護国神社では田村宮司より新年激励のご挨拶と神社の説明をしていただき、研修生は日本の伝統文化を学び清々しい気持ちでこれから研修に励んでまいります。ありがとうございました。(満川)

福岡県護国神社(前列中央田村宮司)

福岡県住吉神社

OB 紹介コーナー

今回紹介します OB 研修生はインドのディリープさんです。ディリープさんは 2019 年～2020 年の研修生で、その年は個性豊かな研修生が多い中で、みんなをまとめていくリーダーシップ能力の高い研修生でした。つい先日待望の男子が産まれて幸せいっぱいのディリープさんです。

◆国へ帰ってから

私が日本からインドに戻ったとき、インドは covid(コロナ)の問題に直面していました。インド人は covid のために苦しんでいるので、私は自分の国を支援する必要がありましたので、病院で 2 年間働きました。今、私はインドの国営日刊紙と協力して、南インドのケララ州の学童のために、農業と環境保護活動を推進しています。このプログラムの名前は SEED (STUDENT EMPOWERMENT FOR ENVIRONMENTAL DEVELOPMENT)といいますが、 私はインドの若者を励まし、農業と環境保護の重要性について意識を高めてもらいたいと思っています

◆家族の紹介 私は幸せな家族を持っています。 私は父、母、妻、息子と一緒に家に住んでいます。息子はつい先日産まれました。とてもかわいいです。

◆日本での思い出 桜、冬、野菜や果物の栽培、日本語教室、旅行、お祭り、学校訪問、歌、ダンス、料理、農業研修、センターの掃除など、日本で経験したことは一生の思い出です。

◆好きな食べ物

日本料理は私の好きな料理です。 ラーメンや天ぷらなどの伝統的な日本食は私のお気に入りの料理でした。寿司を食べるのは初めてでしたがとても美味しく、日本の新鮮な果物や野菜が恋しいです。日本が恋しい。

◆オイスカのメンバーの皆さんとスタッフへのコメント

私は、センターの先生から多くのことを学びました。 時間厳守の重要性、食文化、礼儀正しさ、偉大な日本文化はこれらが象徴しています。私の人生の中で日本の先生、オイスカメンバーのみなさんを忘れることはありません。本当にありがとうございました。

会員さんご紹介 大分県推進協議会会員 有限会社あそう

＊オイスカ入会（オイスカとの出会い）

2012 年４月、ミャンマーのヤンゴンでオイスカ駐在員の斉藤祐子さんとお会いして説明を聞いたことが入会のきっかけでした。当時私はミャンマーに中古車を販売していましたので、ミャンマーブライトウィングの飯島百合子代表を通じて度々出張をしていました。また当時大学の先輩でもあります高倉哲康先輩のミヤンマーツアーに同行することになり、その時にオイスカの方と会ってみないかということでお会いをして、それから中古車の仕事を通じてオイスカイエサジョ第一センターへ 2t トラック及びコンバインの搬入等を行うようになりました。

＊オイスカへのメッセージ

当時ミャンマー国内を旅行中車内より外を眺めていたら、樹木の伐採の後が裸山になっている場面に遭遇して、オイスカの植林・育林が如何に大切な事を痛感しました。今後益々応援していきたいと思います。

ミャンマーツアーに参加

当時出会った斎藤さん

ミャンマー日本大使館でのオイスカ行事に参加(左端麻生様)

←(ミャンマーの聖地)
石の上に浮いて立っている
チャイティオパコダ

現地支援企業　シマヤのだしの素会社

あそう自動車

ビジネスからプライベートまであなたのカーライフをトータルサポート!!
法人名:有限会社あそう　代表取締役　麻生 敏郎
住　　所:大分市口戸４０７－１
営業時間 09:00～18:00　☎097-586-1210
定休日日・祝・祭

＊会社案内

24 年前に中古車販売の会社を設立して、国内販売・海外への販売等をしています。又、７年前から木材の買取販売等も始めまして現在に至っています。特に木材部門に関しては、ミャンマーの山林の状況を見たことも又、オイスカの取り組み等を通じて、森林伐採後の植林を徹底して大野郡森林組合にご協力いただきながらやっています。計画：伐採・植林・育林を合い言葉に頑張りたいと思います。